

ビデオ会議システム ユーザーの声

出典：キーマンズネットワーク 2004.2.16

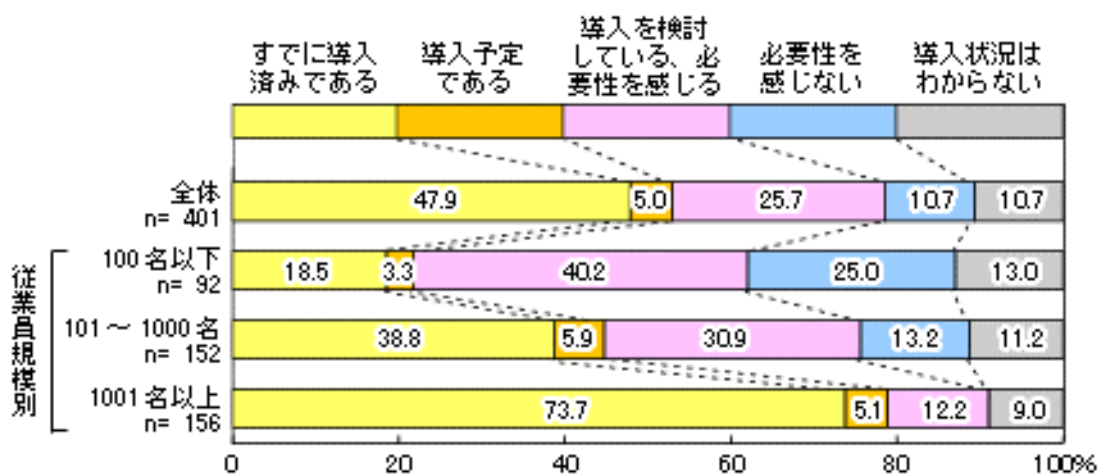
2004.2.19 CXMedia Inc

2003年12月19～26日にわたり、キーマンズネット会員に向けてビデオ会議システムの導入に関するアンケートを実施した(有効回答数：402件)。システム導入状況や利用予定のシステムタイプ、導入の目的、ツールに関する不満などを紹介していこう。

ビデオ会議システムの導入状況

まずは、ビデオ会議システムの導入状況を見てみよう。全体で見ると約半数に当たる 47.9%が「導入済み」であると回答した。従業員規模別で見ると、1001名以上の会社での導入率はすでに7割を超えていることがわかる。逆に100名以下の規模は2割に達していない(18.5%)状況で、会社規模が大きくなるほど導入が進んでいる状態だ。また、規模が小さくなるほど、導入に対する必要性を感じない人の割合が大きくなるところを見ると、出張旅費の削減や意思決定のスピードアップなどビデオ会議システムで考えられるメリットが、小規模ではそれほど出にくい状況だということがわかる。

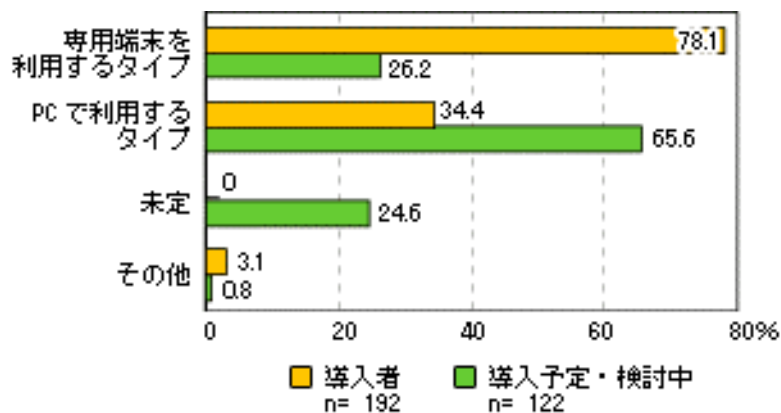
図1 ビデオ会議システムの導入状況



ビデオ会議の導入・導入検討におけるシステムタイプ

次に、導入したもしくは導入予定のビデオ会議システムにおけるタイプを見てみたい。すでに導入している企業では、専用端末を利用しているところが多く(78.1%)、PCタイプ(34.4%)を大きく上回っている。しかし、導入を予定・検討している企業では、PCで利用するタイプが専用端末を利用するタイプを大きく上回っており、今後の主流としては、PCタイプへ移行することが予想される。以前利用されてきたISDN網から、現在のブロードバンドを背景としたIP網利用が進むことが、この結果に大きく影響していると思われる。

図2 ビデオ会議システムのタイプ

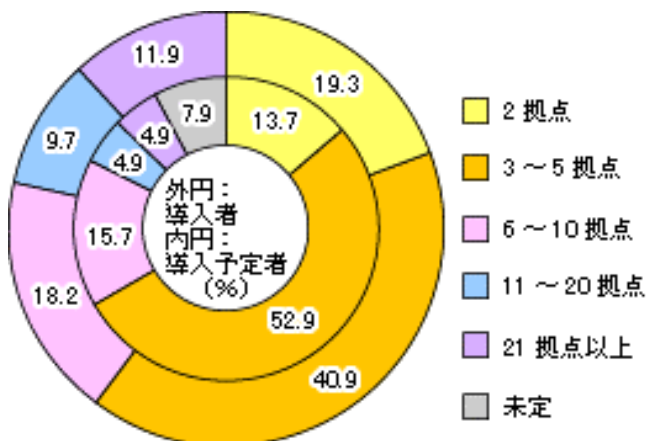


導入・導入検討における利用拠点数と利用者数

今度は、導入したもしくは導入予定・検討している企業の利用拠点数と利用者数を見ていこう。導入拠点数では、導入及び導入予定・検討企業ともに、3～5拠点での利用が圧倒的に多いことがわかる。この数字を裏付けるように、最近の専用端末タイプの製品には、3～5拠点程度を接続させることができるMCU機能が内蔵されている製品が多く、逆に最初に接続可能

な拠点数のみではじめる企業が圧倒的に多くなっているのではないかと推察できる。

また、利用者数を見ると、1~10人で利用する企業が1番多く、ついで11~50人の順で続く。50人までの利用者数が全体の大半を占めていることから、ビデオ会議システムは全体的に小規模での利用が多いことがわかる。



導入者 n= 176 導入予定者 n= 102

図3 導入拠点数

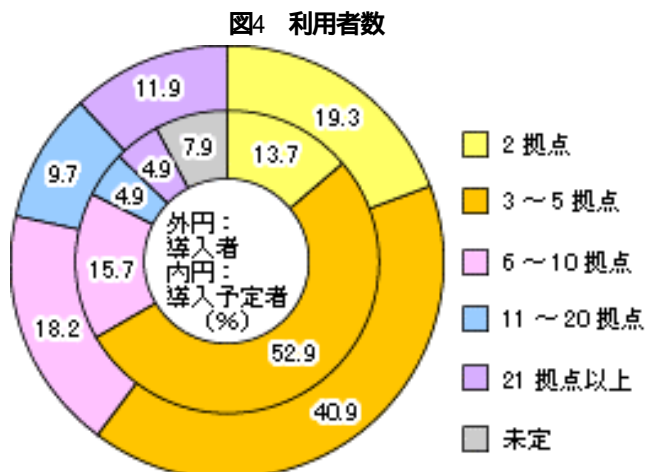
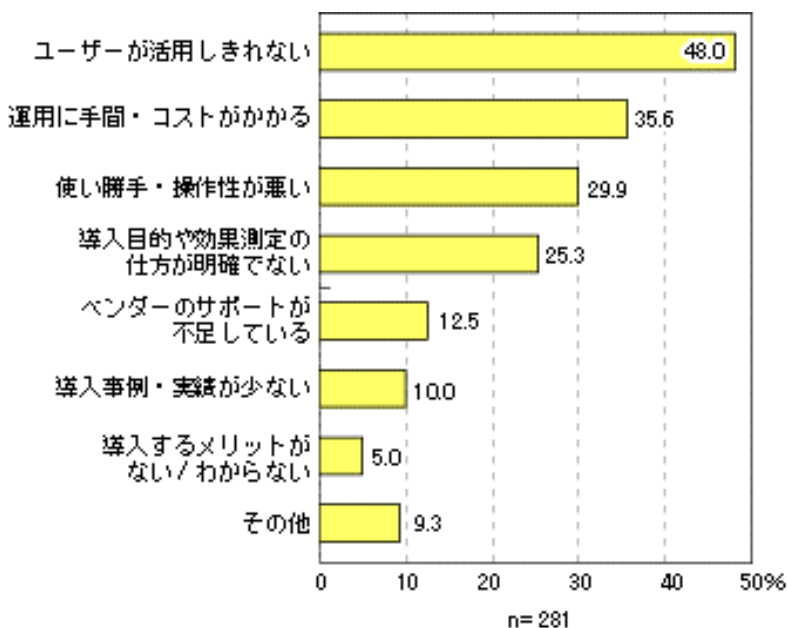


図4 利用者数

ビデオ会議システムに関する不満・不安

最後に、ビデオ会議システムに関する不満・不安について紹介しよう。導入者及び導入予定・検討者が両方ともに感じていることは、「ユーザーが活用しきれない」(48.0%)という運用面に不満・不安を抱えている。取材をしてみると、意外と設定機能やユーザーインターフェースの使いやすさに驚いたものだが、日々の業務に組み込まれたときに、うまく使いこなせない場面が多いのかもしれない。記事内にも記したが、ビデオ会議システムを利用するための文化の根付かせ方に注力しないと、せっかく入れたのに宝の持ち腐れに終わってしまう恐れもある。システムの検討と同時に、会議運営の方法についてもしっかりとした議論が必要になるだろう。

図4 ビデオ会議システム導入に対する不安・不満点



n= 281